

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課（放課後対策担当）

施設名称		〔44〕 東京都台東区立谷中児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館 8 館、16 こどもクラブ					
(3)経営状況	（27年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,816,804,521円， 支出2,832,987,406円， 収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区谷中5-6-5					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日を除く）：午前9時30分～午後6時一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5)規模	RC3階建 事務室・更衣室・遊戯室・図工室・談話室・集会室 谷中こどもクラブ併設					
(6)人員体制	常勤職員2名、短時間職員3名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料					35,844,000
	利用料金収入					0
	その他収入					0
	管理経費					35,844,000
決算	委託料					33,924,771
	利用料金収入					0
	その他収入					13,050
	管理経費					33,937,821
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度
開館日数		日				331
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度
利用者数		人	48,000			52,518

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

谷中地域内に初めて乳幼児親子がゆっくと過ごせる施設であることから、朝から閉館まで1日を通して多くの利用があった。
また、台東区の区境に近い立地場所ではあるが、区内外いろいろな地域からの利用があった。

8. 評価項目
 3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。
 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	新規施設のため、各部屋ごとに利用者の避難訓練を実施した。災害想定による避難方法、経路の確認をし、利用者の危機意識を高めた。
(2)施設の維持管理	A	新規施設のため、日常の点検・遊具の消毒などの整備を行い、新しい施設維持に努めた。
(3)利用者の満足度	A	地域内で初めて乳幼児がゆっくと過ごせる居場所となり、朝から閉館間際まで、多くの利用があった。小学生には、日常的に図工室を利用した創作活動を行った。
(4)収入支出	A	節電に対応した施設ではあるが、効率的な空調管理のため、排気口の開閉を調節するなどの工夫に加え、幼児用プールの水を花の水やり等に再利用するなど、省エネに取り組んだ。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	施設が整ったこともあり、新たな利用者層（幼稚園、保育園帰りの親子等）の児童館を通じた交友関係を広げることができ、地域の子育て家庭の拠点の役割を果たした。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

- ・上野桜木地域（谷中清水町公園）への乳幼児向けの出前活動を行う。
- ・中高生のニーズに応えるために、卓球大会の実施、テスト勉強ができる部屋の整備などの学習支援に取り組む。